

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
江の川（下流）流域の減災に係る取組について

令和6年度 第1回 協議会

令和6年5月29日（水）

江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会

（ 江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県、
松江地方气象台、国土交通省浜田河川国道事務所 ）

江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会 規約

(協議会の実施事項)

第4条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

一 洪水の浸水想定等の水害リスク情報並びに、各構成員がそれぞれ又は連携して実施している現状の減災に係る取組状況等の共有。

二 円滑かつ迅速な避難、的確な水防活動及び円滑かつ迅速な氾濫水の排除を実現するために、各構成員がそれぞれ又は連携して取り組む事項をまとめた「地域の取組方針」の作成・共有。

三 「地域の取組方針」に基づく対策の実施状況の確認。

四 その他、大規模氾濫に関する減災対策に関して必要な事項を実施。

これまでの経緯

- 平成27年9月関東・東北豪雨災害を契機に、「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水に備える必要があるとして平成27年12月に「水防災意識社会再構築ビジョン」が策定され、減災対策協議会を設置した。協議会で各機関の5か年の取組方針を作成し、毎年、進捗状況をフォローアップしてきた。その間、緊急行動計画（平成29年6月）や緊急行動計画の改定（平成31年1月）などを踏まえて、必要に応じて取組方針の見直しも行き、令和2年度には当初の目標期間とした概ね5年が経過した。
- 多くの取組項目が完了しているが、緊急行動計画の改定の項目のうち、一部、未完了の項目や継続して実施すべき避難訓練等の項目が存在した。
- これまでの取組状況や水防災に係る近年の動向を踏まえて、概ね5年（令和3～7年度）に実施する取組を設定した（令和3年5月に改訂）。

平成27年9月 関東・東北豪雨災害（鬼怒川の洪水氾濫）

平成27年12月 社会資本整備審議会答申

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える必要がある。

平成27年12月 水防災意識社会再構築ビジョン

平成28年7月4日 第1回 減災対策協議会	『江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会』設立	
目標	山間狭窄部に点在する小集落などの地形特性を踏まえ、各地域が連携し、住民自ら避難行動をとることができる「江の川下流水害に強い地域づくり」を目指す。	
取組方針	1. 住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 2. 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 3. 浸水を一日も早く解消するための排水対策	
平成28年10月11日 第2回 減災対策協議会	『江の川(下流)流域の減災に係る取組方針(案)』策定	
平成29年 5月24日 第3回 減災対策協議会	規約改定※1、平成28年度のフォローアップ 等	※1：邑南町の担当部局変更（危機管理課長→総務課長）
緊急行動計画（平成29年6月20日） 平成28年8月、台風10号等の一連の台風による豪雨災害（中小河川の氾濫）を受けて、とりまとめられた委員会の答申（H29.1）を踏まえ、水防法改正に基づく協議会の設置、水害対応タイムラインの作成促進、要配慮者利用施設における避難体制構築への支援、水害危険性の周知促進、防災教育の促進等の32項目をとりまとめた。※H29.12.1 中小河川等治水対策プロジェクトを設立し33項目に追加修正		
平成30年 5月31日 第4回 減災対策協議会	減災対策協議会を法定化・緊急行動計画への対応（地域の取組方針の見直し） 等	
平成30年11月 5日 第5回 減災対策協議会	平成30年7月豪雨の振り返り（フォローアップ含む） 等	
緊急行動計画の改定（平成31年1月29日） 平成30年7月豪雨を受けて、とりまとめられた委員会の答申（H30.12）を踏まえ、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに充実し加速するため、多くの主体の事前の備えと連携の強化の観点等より、2020年（令和2年）度を目途に取り組むべき緊急行動計画を54項目に拡充。		
令和元年 5月31日 第6回 減災対策協議会	平成30年度フォローアップ・緊急行動計画への対応※2 等	※2：優先すべき検討課題を5項目設定
令和2年 2月13日 第7回 減災対策協議会	令和元年度フォローアップ、規約改定※3 等	※3：ダム部会の追加
令和2年 5月29日 第8回 減災対策協議会	令和元年度フォローアップ、令和2年度の予定、治水協定、流域治水プロジェクト 等	
令和2年7月豪雨 江の川（下流）では、氾濫発生情報が発表され、浸水面積：265ha、浸水戸数：104戸の浸水被害が発生		
令和2年10月22日・令和2年12月22日 令和2年度出水期の振り返り意見交換会		
令和3年 2月10日 第9回 減災対策協議会	令和2年度フォローアップ 等	
令和3年 5月24日 第10回 減災対策協議会	今後5か年の取組方針（案）、令和3年度実施方針、フォローアップ 等	
令和4年 3月22日 第11回 減災対策協議会	令和3年出水期後の振り返りについて、フォローアップ 等	
令和4年 5月24日 第12回 減災対策協議会	令和4年度の予定 等	
令和5年 3月書面 第13回 減災対策協議会	令和4年度フォローアップ 等	
令和5年 6月書面 第14回 減災対策協議会	令和5年度の予定 等	
令和6年 3月22日 第15回 減災対策協議会	令和5年度フォローアップ 等	

概ね5年で実施

令和5年度 減災対策協議会の開催状況

平成28年度から取り組んでいる減災に係わる取組方針は当初目標としていた5年が経過したことから、令和3年5月に今後5か年の取組方針として改定しました。

令和5年度は、各関係機関が令和5年度に取り組む対策について共有するため、第1回協議会を令和5年6月に書面開催しました。また、各種対策に対する取組状況を共有するため、第2回協議会を令和6年3月に開催しました。

【第1回協議会】

開催日：令和5年6月

開催方式：書面開催

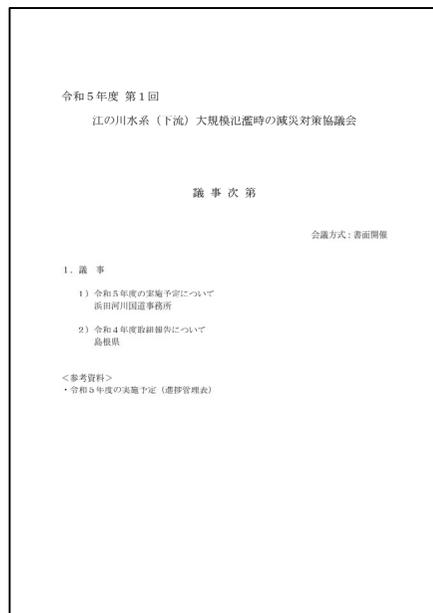
【第2回協議会】

開催日：令和6年3月22日（金）

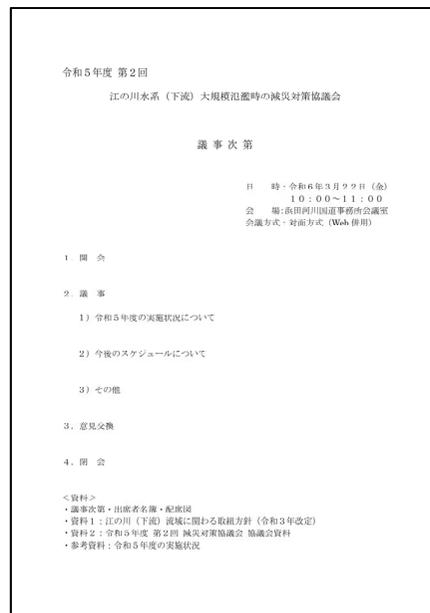
開催方式：対面方式（Web併用）

開催場所：浜田河川国道事務所 2階 第一会議室

参加機関：松江地方气象台、島根県（防災部、土木部）、江津市、川本町、美郷町、邑南町、浜田河川国道事務所



第1回協議会 議事次第



第2回協議会 議事次第



第2回協議会の様子

(1) 令和5年度取組状況の報告及びフォローアップについて

(2) 令和6年度取組予定について

(3) 今後のスケジュールについて

(1) 令和5年度取組状況の報告及びフォローアップについて

令和5年度の実施状況

- 令和5年度第1回減災対策協議会において、令和5年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、令和5年度の実施予定に対する各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-10以降に示します。

①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

主な取組項目	取組機関	令和5年度の実施状況
■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備		
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	国交省	・【国交省】簡易型河川カメラ4か所、危機管理型水位計2か所の更新
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	国交省・ 松江地方気象台	・【気象台】①顕著な大雨に関する気象情報をより早く提供(令和5年5月25日～) ②台風進路予報及び暴風警戒域をより絞り込んで発表(令和5年6月26日～) ・【国交省】①水位表示板の更新・設置箇所を検討、次年度以降に現地対応の予定、 ②指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表 (令和4年6月13日から継続)
■ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等		
・想定最大規模降雨に対応したハザードマップに基づく避難計画の見直し(避難場所及び避難経路の検討、広域避難の必要性検討、隣接市町との洪水時の連絡体制の検討)	流域市町	・【江津市】旧桜江町における地区防災計画作成に向けて検討を行った。 ・【川本町】避難場所の再検討及び変更を実施 ・【美郷町】デジタルハザードマップをHPに公開し、住民(一般)へ周知を実施
・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供	流域市町	・【江津市】計画に基づく訓練等の支援を行った。 ・【川本町】福祉施設との協議を実施 ・【美郷町】町内の2施設で新たに作成 ・【気象台】令和5年度の増員により「要配慮者対策係」を新設し、要配慮者への支援を強化 ・【国交省】①出前講座の調整時点で他機関から講座を受講済みであったため、今年度は未実施、来年度に実施予定、②第1回減災対策協議会において、要配慮者利用施設の避難確保計画作成・活用に関する情報提供を実施
・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導體制の検討	流域市町	・【江津市】地区防災計画作成の過程で一部で協議を行った。 ・【邑南町】自主防災組織と協議を実施
・江の川(下流)の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	協議会全体	・【江津市】開催に向けて協議を行ったが日程等の問題で開催できなかった。 ・【邑南町】BCPについて継続的に協議を実施 ・【国交省】①江津商工会議所職員に、水害BCP作成に関する説明を実施(7/19)、 ②JAしまね島根おち地区本部を対象に避難行動等に関する出前講座を実施(8/16)
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配付やまるごとまちごとハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施	流域市町	・【江津市】表示板等の維持を行った。 ・【邑南町】作成、配布済み

令和5年度の実施状況

- 令和5年度第1回減災対策協議会において、令和5年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、令和5年度の実施予定に対する各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-10以降に示します。

①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

主な取組項目	取組機関	令和5年度の実施状況
■ 多様な防災活動を含むタイムラインの作成		
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> ・【国交省】①江の川(下流)水害タイムラインを3回立ち上げ、②出水期前にタイムラインの運用方法等の確認、出水期後に水害タイムラインの運用等についてのアンケートを行い検討会を実施
■ 情報伝達、避難計画等に関する事項		
・洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> ・【島根県】 八戸ダム及び県管理河川における情報提供を実施 ・【国交省】 台風の接近が無かったため、Web会議による情報共有は未開催
・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	流域市町・国交省	<ul style="list-style-type: none"> ・【国交省】 江の川水系ダム洪水調節機能協議会に新設ダムの追加変更を実施
■ 防災教育や防災知識の普及		
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> ・【江津市】 出前講座や広報誌等で周知 ・【島根県】 水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信 ・【気象台】 ①島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ(土砂災害編・洪水編)」を、web会議により計10回開催し、地域防災力の向上を支援した。(令和5年6月16日～7月3日) ②島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夜刻に「youtube」にて配信 ・【国交省】 ①江の川だより第17号において、避難行動の取組方法や防災情報を周知(QRコードの活用)、②Xを活用した防災情報等の発信
・小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> ・【江津市】 出前講座等で水害(防災)教育を実施 ・【川本町】 小学校で災害授業に合わせて実施 ・【美郷町】 都度実施 ・【邑南町】 町内中学校等の職場体験時に防災学習を実施 ・【国交省】 防災出前講座を実施(1/29 川本小学校)

令和5年度の実施状況

- 令和5年度第1回減災対策協議会において、令和5年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、令和5年度の実施予定に対する各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-10以降に示します。

①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

主な取組項目	取組機関	令和5年度の実施状況
■ 防災教育や防災知識の普及		
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> ・【江津市】 ツールを活用した防災教育を実施 ・【川本町】 町全体での実施に合わせ、各自治体ごとに個別説明を実施 ・【美郷町】 防災アドバイザーを講師に迎え実施 ・【邑南町】 町内自治会等で出前講座を実施 ・【島根県】 ①新聞広報(考える県政)による情報発信、 ②桜江中学校と連携し、防災(治水)学習(5/18 川のしくみ、5/26 防災マップ、6/14 ICT体験、計3回)を実施(八戸川、八戸ダム) ・【気象台】 「島根県総合防災訓練」において、展示ブースを開設。広く一般住民に向け防災に関する展示・解説を実施し、防災知識の普及・啓発を行った(令和5年10月29日) ・【国交省】 ①昭和58年7月豪雨から40年、平成30年7月豪雨から5年のパネル展を流域自治体の施設などで開催(7/24~8/31)、 ②江津市都野津町地区で防災出前講座(マイ・タイムライン等)を実施(7/30)、 ③みすみフェスティバルで、流域治水の取組などのパネル展を実施(11/11)、 ④昭和58年7月豪雨から40年に関する新聞広告を作成、 ⑤江の川だより第16号~20号を発刊
・住民一人一人の避難計画・情報マップ(マイ・タイムライン)の作成促進	流域市町・ 島根県・国交省	<ul style="list-style-type: none"> ・【美郷町】 地区防災計画の作成に合わせ町内1集落で実施中 ・【邑南町】 自主防災組織、防災士に対してマイ・タイムライン作成研修を実施 ・【国交省】 江津市都野津町地区でマイ・タイムライン等の防災出前講座を実施(7/30)

②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

主な取組項目	取組機関	令和5年度の実施状況
■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化		
・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保	流域市町	<ul style="list-style-type: none"> ・【美郷町】 6月に当該団員を集め、排水ポンプの操作訓練を実施(内水排除)
・江の川(下流)の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	流域市町・国交省	<ul style="list-style-type: none"> ・【川本町・国交省】 川本町職員・川本町消防団員と合同で重要水防箇所の現地確認を実施
・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> ・【江津市】 水防団員が排水ポンプ等の操作訓練を行った。 ・【川本町】 各分団の訓練で実施 ・【国交省】 国交省職員・防災エキスパート・コンサルタントと共同で、梅雨時期前に堤防点検を実施

令和5年度の実施状況

- 令和5年度第1回減災対策協議会において、令和5年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、令和5年度の実施予定に対する各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-10以降に示します。

②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

主な取組項目	取組機関	令和5年度の実施状況
■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化		
・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	流域市町・ 島根県・国交省	<ul style="list-style-type: none"> ・【国交省】①水防連絡会、洪水予報連絡会、災害情報協議会を開催、②川本町川本(谷地区)において、仮締切堤防の設置訓練を実施
・市町庁舎の水害時における対応について業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	江津市・川本町・ 邑南町	<ul style="list-style-type: none"> ・【江津市】新庁舎版業務継続計画の改定作業中 ・【川本町】必要に応じて業務継続計画の見直し
・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	流域市町・ 島根県・国交省	<ul style="list-style-type: none"> ・【江津市】樋門操作員研修会を実施した。 ・【川本町】樋門等操作員研修で実施 ・【美郷町】説明会を実施していただき、訓練は必要に応じて実施 ・【邑南町】7月に実施 ・【国交省】①国交省職員・江津市職員、委託操作員を対象とした本町救急内水排水機場・川本排水機場の操作説明会を実施、②国交省職員・各市町担当職員、樋門操作員を対象とした樋門の操作説明会を実施

③浸水を一日も早く解消するための排水対策

主な取組項目	取組機関	令和5年度の実施状況
■ 排水作業準備計画（案）の作成及び排水訓練の実施		
・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	流域市町・ 国交省	<ul style="list-style-type: none"> ・【邑南町】消防団による排水ポンプの訓練を実施 ・【島根県】排水ポンプ車による排水訓練(5/25、5/30、6/7、6/15 計4回)を実施 ・【国交省】国交省職員と災害時の対応を行う協力業者で、排水ポンプ車の合同操作訓練を実施
・排水設備の耐水性の強化	流域市町・ 島根県・国交省	<ul style="list-style-type: none"> ・【邑南町】排水設備の点検と修繕を実施

国土交通省
浜田河川国道事務所

項目	住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	
内容	令和5年当初計画	江の川（下流）流域の自治体等を対象にマイ・タイムライン講習会を実施
	令和5年実施状況	江津市都野津町地区でマイ・タイムライン等の防災出前講座を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・江津市	

【実施概要】

- 7月30日（日）に、江津市都野津町地区の住民（約15名）を対象に、マイ・タイムライン講習会を実施しました。
- 講習会では、マイ・タイムラインの概要や避難に必要な情報について説明を受けるだけでなく、実際にマイ・タイムラインを作成していただきました。最後の質疑応答の時間では、多くの質問を受け活発な意見交換を行いました。



マイ・タイムラインの説明



質疑応答



マイ・タイムライン作成時



マイ・タイムライン作成時

参加者からの質問・意見

- 本当に怖いと感じる大雨が降る状況まで、避難しようとは思いきく、どうしても避難するタイミングが遅くなる。避難を実行に移すためにスイッチがあれば教えてほしい。
- 避難する際は、みんなで助け合えばいいが、その体制ができていないのが現状。高齢者同士で助け合うのも難しく、自分のことで精一杯で隣近所まで気が回らない。地域でなんとか対応してほしい。

小学校を対象とした防災教育の普及

浜田河川国道事務所

項目	小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実	
内容	令和5年当初計画	江の川（下流）流域の小中学校を対象に防災教育を実施
	令和5年実施状況	川本小学校の5年生（18名）に防災出前講座を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 令和6年1月29日（月）に、川本町立川本小学校の児童（18名）の皆さんに、防災に関する出前講座を行いました。出前講座では、「江の川の概要」「過去の洪水」「河川整備」「避難準備・避難行動」などについて説明しました。
- 要望があった沿川の小学校等を対象に、来年度以降も防災出前講座を順次実施します。

今年度の取組



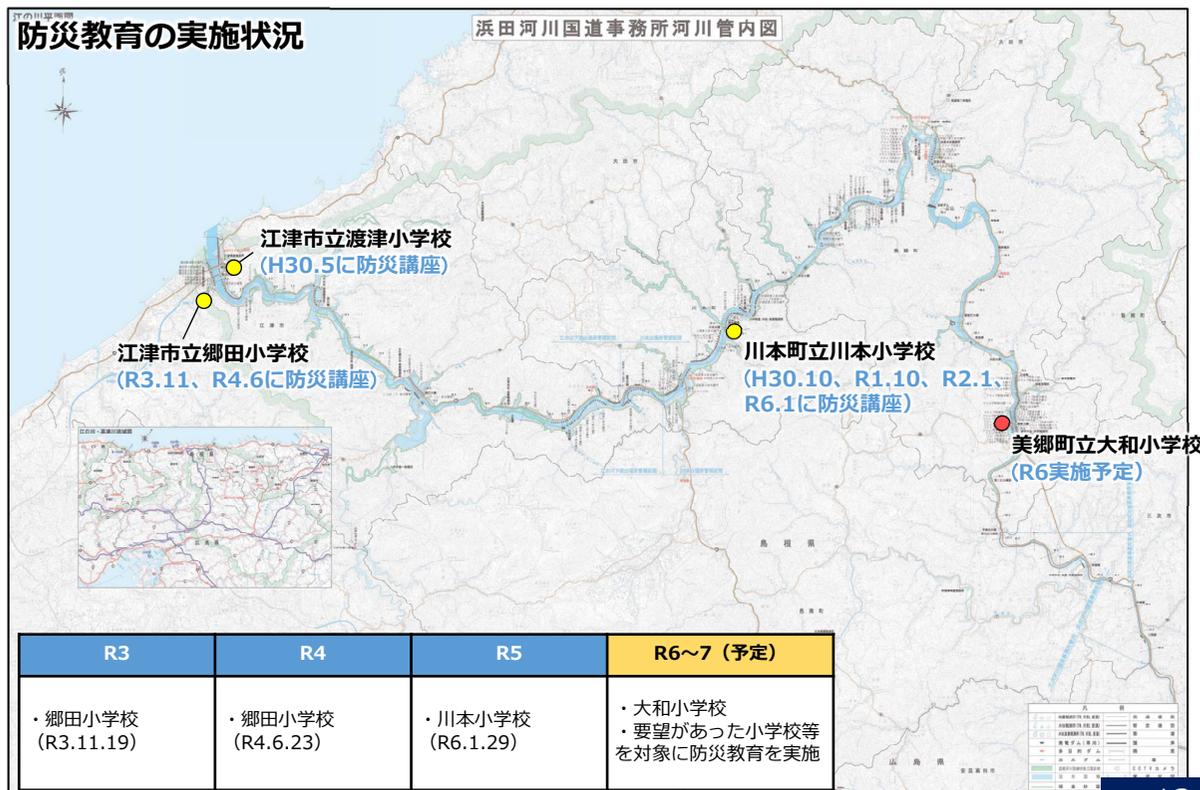
出前講座（座学）教室で4年生を対象に実施

避難に必要な情報や物資を考えてもらう



自然災害の種類や江の川での災害を紹介

来年度の取組予定



項目	江の川（下流）の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	
内容	令和5年当初計画	江の川（下流）流域の商工会や企業を対象とした講習会等の実施
	令和5年実施状況	江津商工会議所職員に、水害BCP作成に関する説明を実施 JAしまね島根おおち地区本部を対象に避難行動等に関する出前講座を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 7月19日（水）に、江津商工会議所職員（2名）を対象とした水害BCP作成に関する説明を行いました。
- 8月16日（水）に、JAしまね島根おおち地区本部でおおち女性の会（約12名）を対象とした出前講座を実施しました。出前講座では、過去の出水や河川整備の概要、避難行動の取り方、河川環境について説明しました。

今年度の取組（JAしまね島根おおち地区本部）



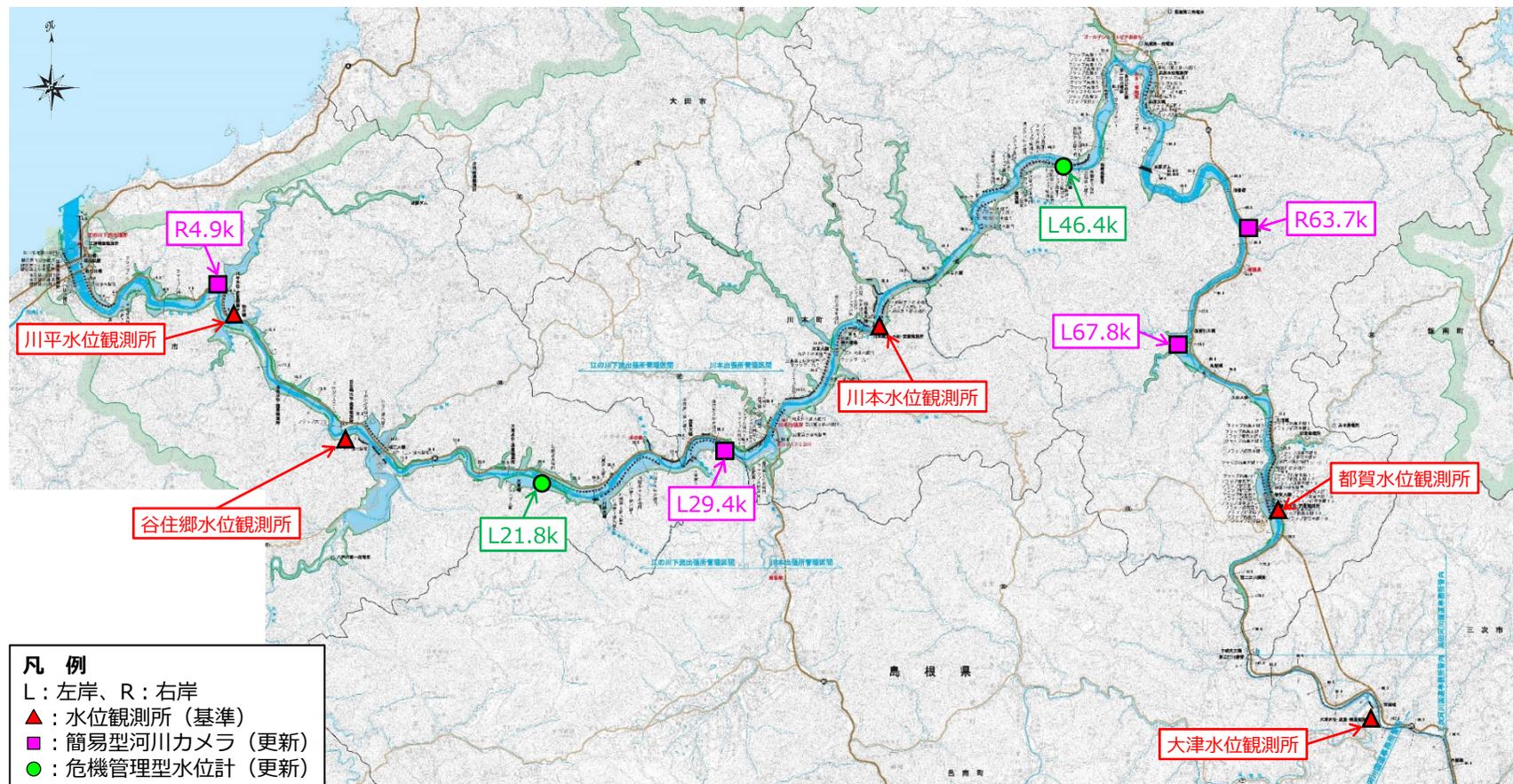
来年度の取組予定



項目	洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	令和5年当初計画	孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置・更新
	令和5年実施状況	簡易型河川カメラ4か所、危機管理型水位計2か所の更新
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○ 出水時に孤立する可能性がある地区において、簡易型河川カメラ4か所、危機管理型水位計2か所の更新を行いました。



簡易型河川カメラ、危機管理型水位計の設置平面図

項目	「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	
内容	令和5年当初計画	水害リスクライン等の活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用
	令和5年実施状況	江の川だより第17号において、避難行動の取組方法や防災情報を周知（QRコードの活用）Xを活用した防災情報等の発信
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 江の川だより第17号において、川の防災情報の紹介を行いました。
- 浜田河川国道事務所の公式Xを運用し、事務所が管轄する河川や道路の情報発信・情報収集を行いました。

江の川だより（第17号）

江の川だより 2023.6 第17号

— みんなで取り組む江の川の流域治水 —

梅雨の時期前に、避難の準備はお済みですか？

今年も梅雨の時期が近づいています。近年、気候変動による豪雨災害が増加していますが、災害への備えは十分ですか？

マイタイムラインを作成してみよう！

家族で事前によく考えよう！

家族で話し合っ、マイタイムラインを作ってみよう！

マイタイムラインとは、台風や前線の大雨によって、河川の水位が上昇するときに、「いつ」、「なにを」しておけばいいのかを前もって考えておくことで、落ち遅いで安全に避難することを目指す、各自で作成する防災行動計画です。

マイタイムラインチェックシート（例）

- お住まいの地域は洪水時に浸水しますか？
- 避難ルートはわかりますか？
- 避難に支援が必要な人はいますか？
- ペットはいますか？
- 避難の時になにを持って行きますか？ など

マイタイムラインを作成はこちらのサイトをご覧ください。↓

国土交通省中国地方整備局 浜田河川国道事務所HP http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/bousai/mytimeline/nigeKit_g3/nigeKit_g.html

自分の家族構成や生活環境に合った情報・判断・行動を把握して「自分の逃げかた」を手に入れます。

川の水位やカメラ映像の入手は？（川の防災情報）

国土交通省では「川の防災情報」を開発し、「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「洪水予報」などをリアルタイムでお知らせしています。大雨時の情報収集にご活用下さい。

川の防災情報はこちら→

川の水位情報を選択し、自宅周辺のマークをタップすることで、河川の水位やカメラ映像を見ることができます。

公式X

公式Xのアカウント

国土交通省 浜田河川国道事務所
2,576 posts

国土交通省 浜田河川国道事務所
@mlit_hamada

国土交通省 浜田河川国道事務所の公式アカウントです。
河川（江の川・高津川）、道路（山陰道・国道9号・国道191号）に関する情報を発信します！
※当アカウントへのコメント等の個別対応は、原則として行いませんので予めご了承ください。
ご意見等は公式HPへお願いいたします。

Translate bio

〒697-0034 島根県浜田市相生町3973 @cgr.mlit.go.jp/hamada/
Joined June 2021

49 Following 943 Followers

Not followed by anyone you're following

パネル展に関するXの投稿

Post

国土交通省 浜田河川国道事務所
@mlit_hamada

過去の豪雨災害を後世に伝え災害の記憶の風化を防ぐため、「昭和58年7月豪雨災害から40年、平成30年7月豪雨災害から5年」パネル展を開催しています。

県、市町でも展示しているので、是非ご覧ください。

#昭和58年7月豪雨災害
#平成30年7月豪雨災害
#パネル展
#江の川
#高津川
#益津川
#三隅川

Translate post

10:19 AM · Jul 24, 2023 · 10.8K Views

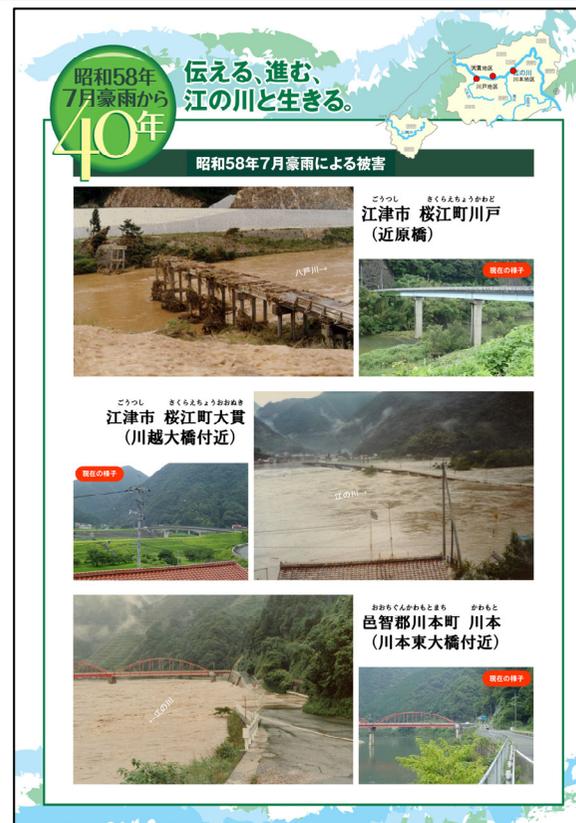
項目	住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	
内容	令和5年当初計画	出前講座等において住民への説明を実施
	令和5年実施状況	昭和58年7月豪雨から40年、平成30年7月豪雨から5年のパネル展を流域自治体の施設などで開催
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・島根県・江津市・川本町・美郷町・邑南町	

【実施概要】

- 令和5年は、昭和58年7月豪雨から40年、平成30年7月豪雨から5年の節目にあたり、災害の記憶の風化を防ぎ、過去の豪雨災害を後世に伝えるため、令和5年7月24日（月）から8月31日（木）まで江の川（下流）流域の自治体などでパネル展を開催しました。



パネル表紙



被災写真



悠邑ふるさと会館（川本町）



みさと館（美郷町）

パネル展の開催（広報）

項目	住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	
内容	令和5年当初計画	出前講座等において住民への説明を実施
	令和5年実施状況	みすみフェスティバルで、流域治水の取組などのパネル展を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 11月11日（土）に浜田市三隅町で開催されたみすみフェスティバル2023において、昭和58年7月豪雨から40年、平成30年7月豪雨から5年に関する広報パネルを展示しました。



展示パネルを観覧する様子

展示パネルに関する説明の様子

項目	住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	
内容	令和5年当初計画	出前講座等において住民への説明を実施
	令和5年実施状況	昭和58年7月豪雨から40年に関する新聞広告を作成
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○令和5年は、昭和58年7月豪雨から40年の節目にあたり、災害の記憶の風化を防ぎ、過去の豪雨災害を後世に伝えるため、当時の被災状況や被災後の治水事業に関する新聞広告を作成しました。

The image displays several newspaper advertisements. The most prominent one on the right is a large-scale ad for the 40th anniversary of the 1985 heavy rain disaster, featuring a massive '58' and the text '豪雨災害を忘れない。昭和58年7月豪雨から40年' (Don't forget the heavy rain disaster. 40 years since the July heavy rain disaster of 1985). To its left, another ad is titled 'ダム、堤防整備など 教訓踏まえ治水事業着々' (Dams, dike maintenance, etc.治水 projects steadily implemented taking lessons learned). Below this, there's an ad titled '命をつなぐ山陰道の整備' (Improvement of San'in Road to save lives). At the bottom right, there's an ad titled '豪雨災害から' (From heavy rain disaster) with the sub-headline '災害から守るために、我々がやっている3つのコト。' (To protect from disaster, the 3 things we are doing). The ad lists three points: 1.川の防災情報 (River disaster information), 2.マイタイムライン (My timeline), and 3.流域治水の推進 (Promotion of basin-wide flood control). It also includes QR codes and contact information for the Hamada River National Highway Office.

掲載した新聞広告

項目	住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	
内容	令和5年当初計画	「江の川だより」による広報
	令和5年実施状況	江の川だより第16号～20号を発刊
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 江の川での改修事業や避難に役立つ情報を、地域の皆さんにご理解・ご協力を頂くため「江の川だより」を発刊しています。
- 令和5年度は、江の川だより第16号～第20号をWEBサイト上で公開しました。
江の川だより : <https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/kasen/suishin/gonokawadayori.html>

第17号

表面

裏面

第18号

表面

裏面

項目	江の川（下流）の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	
内容	令和5年当初計画	合同点検等を実施
	令和5年実施状況	川本町職員・川本町消防団員と合同で重要水防箇所の現地確認を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・川本町	

【実施概要】

- 11月28日（火）に、次期出水期に向けて江の川左岸35k000付近の重要水防箇所を、浜田河川国道事務所・川本町・地元消防団と合同で現地確認しました。また、現地確認とともに消防団からの要望や出水時の移動ルートに関する意見交換を行いました。



概要説明の様子



現地確認の様子

項目	水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	
内容	令和5年当初計画	国交省職員を講師とした講習会を実施
	令和5年実施状況	国交省職員・防災エキスパート・コンサルタントと共同で、梅雨時期前に堤防点検を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 5月9日（火）に、江の川（下流）国管理区間内において、国土交通省職員・防災エキスパート・コンサルタント業者の合同で、堤防点検を行いました。点検した24か所のうち、江の川右岸36k000付近の堤防で変状がみられました。
- 堤防点検で変状がみられた箇所は、出水期前の5月31日（水）に補修工事が完了しています。



変状が見つかった堤防の様子



補修後の堤防の様子

項目	備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	
内容	令和5年当初計画	備蓄水防資材情報の共有および相互支援方法の確認
	令和5年実施状況	川本町川本（谷地区）において、仮締切堤防の設置訓練を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○平成30年7月豪雨、令和2年7月豪雨で浸水被害が発生した邑智郡川本町川本（谷地区）において、仮締切堤防の設置訓練を5月25日（木）に実施しました。訓練では、情報伝達や県道部分に大型土嚢を設置する手順等について確認を行いました。



項目	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	
内容	令和5年当初計画	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施
	令和5年実施状況	国交省職員・江津市職員、委託操作員を対象とした本町救急内水排水機場・川本排水機場の操作説明会を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・江津市	

【実施概要】

○前線や台風による大雨に備え、4月26日（水）に国土交通省職員・江津市職員・委託操作員の合同で、本町排水機場の操作訓練を実施しました。訓練では、操作手順の確認、実操作、意見交換等を行いました。



本町救急内水排水機場の様子

項目	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	
内容	令和5年当初計画	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施
	令和5年実施状況	国交省職員・江津市職員、委託操作員を対象とした本町救急内水排水機場・川本排水機場の操作説明会を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・川本町	

【実施概要】

○前線や台風による大雨に備え、10月10日（火）に国土交通省職員・川本町職員・委託操作員の合同で、川本排水機場の操作訓練を実施しました。訓練では、操作手順の確認や実操作、設備点検等を行いました。



操作訓練の様子



設備点検の様子

項目	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	
内容	令和5年当初計画	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施
	令和5年実施状況	国交省職員・各市町担当職員、樋門操作員を対象とした樋門の操作説明会を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・江津市・川本町・美郷町	

【実施概要】

○水害の発生が切迫する状況下で適切な樋門操作を実施できるようにするため、10月10日（火）に天神川樋門で樋門操作員を対象とした樋門操作訓練を実施しました。



操作訓練の様子



堆砂状況を確認する様子

項目	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	
内容	令和5年当初計画	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施及び訓練を踏まえた見直し
	令和5年実施状況	国交省職員と災害時の対応を行う協力業者で、排水ポンプ車の合同操作訓練を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○梅雨や台風などによる風水害に備え、5月26日（金）に邑智郡川本町因原、6月7日（水）に江津市桜江町谷住郷及び渡津町長田において、排水ポンプ車と照明車の操作訓練を行いました。



排水ポンプ車の操作訓練



照明車の操作訓練

江津市渡津町長田での操作訓練の様子

自然災害伝承碑を活用した取組の推進

- 自然災害伝承碑とは、過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメントです。
- 過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなどを地形図等に掲載することにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指すもので浜田河川国道事務所管内の自然災害伝承碑を整理しました。
- 具体的な場所は、下記のURLから確認可能です。

国土地理院：自然災害伝承碑、<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

水訓
災害名：昭和58年7月豪雨
昭和60年7月豪雨



放光尊形報恩碑
災害名：洪水・土砂災害
(1564年9月8日)



**川平町 田の原地区 土地利用
一体型水防災事業竣工記念碑**
災害名：洪水(1972年、
1983年、1999年、2006年、
2018年、2020年、2021年)



復興感謝
災害名：昭和47年7月豪雨
(1972年7月12日)



**今田井堰・耕地・水門
復旧記念碑**
災害名：洪水
(1943年、1944年、1945年)



三島堤防完成記念碑
災害名：昭和47年7月豪雨
(1972年7月12日)



益田川災害復旧竣工記念碑
災害名：昭和58年7月豪雨
(1983年7月23日)



家古屋川竣工記念碑
災害名：昭和63年7月豪雨
(1988年7月15日)



浜田河川国道事務所管内
自然災害伝承碑マップ

設置数
江の川(下流) 1 基
高津川(益田川含む) 6 基

※赤枠：令和5年度追加
(水系内に9基)



日貫川竣工記念碑
災害名：昭和58年7月豪雨
(1983年7月23日)



松江地方气象台

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和5年度実施）

顕著な大雨に関する気象情報を、より早く提供

令和5年
5月25日～



「顕著な大雨に関する気象情報」の発表

現在:線状降水帯の発生 改善後:現在より30分程度早く、全自動で発表
予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指す。

顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第1号

令和5年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇気象台発表
(見出し)

これまでの情報文と同じ

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。
命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

(本文)

なし

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和5年度実施）

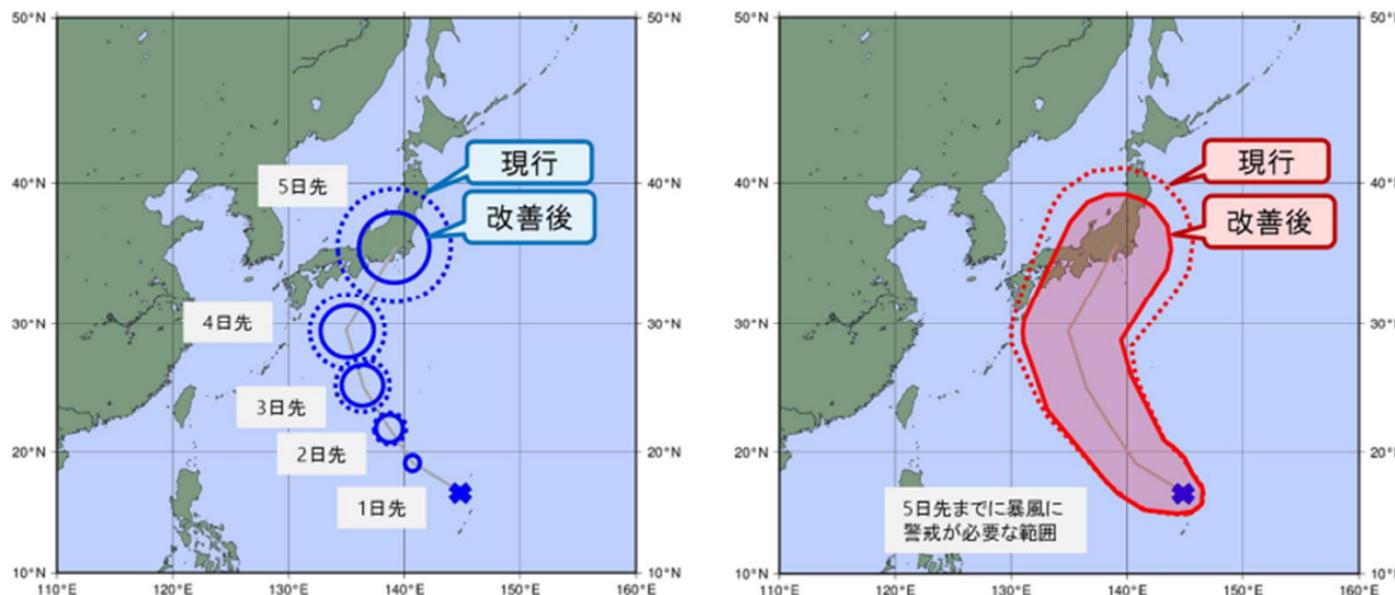
台風予報円及び暴風警戒域をより絞り込んで発表

令和5年
6月26日～



- 数値予報技術等の改善により台風進路予報の精度が向上していることを踏まえ、台風進路予報の予報円の大きさ及び暴風警戒域を現在よりも絞り込んで発表するよう改善
- 特に、3日先以降の予報円が大きく改善し、5日先の予報円の半径はこれまでと比べて最大40%小さくなる

予報円・暴風警戒域の改善イメージ
(令和元年東日本台風の例)



予報円の改善イメージ

暴風警戒域の改善イメージ

■洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供

自治体支援の強化



＜新たに配置された4つの役職＞

①気象情報基準評価係 特別警報・警報基準の見直し



各市町村の地域ごとの災害特性に即した大雨特別警報等の基準値の設定・運用・検証・改善

②流域治水対策係 流域治水協議会等への対応



流域治水協議会に参画し、各河川流域の災害特性に特化した気象資料の提供や技術的助言

③要配慮者対策係 高齢者や障がい者の避難に関する計画作成等の支援対応



要支援者の避難に関する計画策定への助言や内容を特化した普及啓発

④リスクコミュニケーション推進官 多様な分野のリスクコミュニケーションを推進

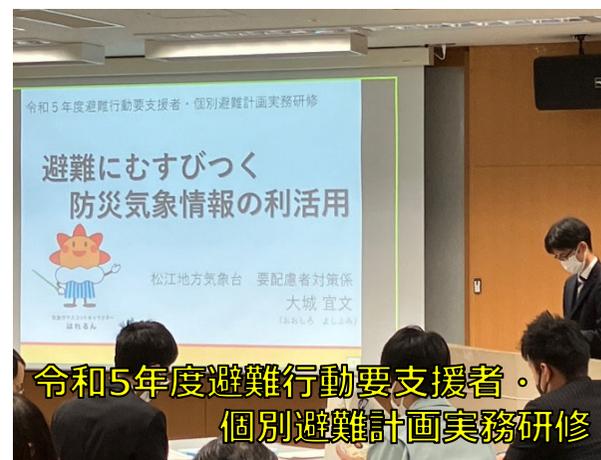


情報受け手側との対話を通じて、情報発信の改善や防災意識向上の取組

＜要配慮者対策係による講演＞



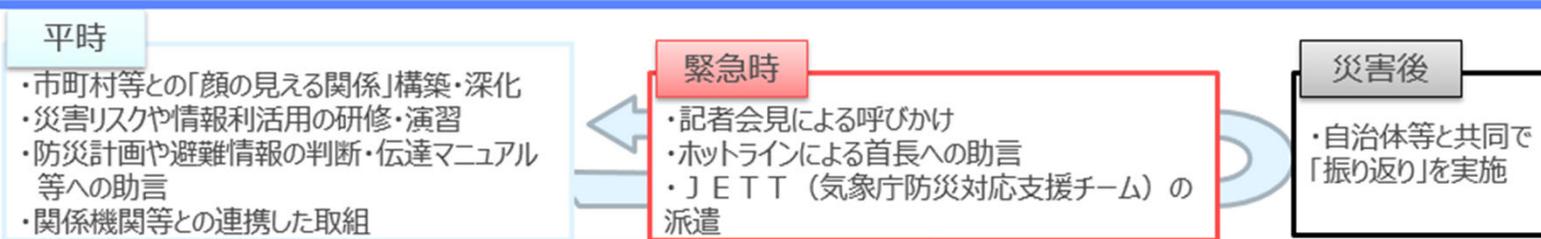
松江市社会福祉協議会



令和5年度避難行動要支援者・個別避難計画実務研修

■「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

地域防災支援の強化—あなたの町の予報官（担当チーム）の取組



「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務を強化

島根県を複数の市町村からなる3つの地域に分け、地域毎の災害特性を踏まえた地域専任の担当チーム「あなたの町の予報官」を編成。担当チームの常設により、各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築し、さらに深化させていきます。

【松江地方気象台の担当チーム編成】

松江・出雲・雲南
チーム



隠岐・県央
チーム



浜田・益田
チーム



気象防災ワークショップの推進



【Web会議で隠岐合同のワークショップ開催】

県内自治体防災担当職員を対象に、気象情報の利用方法などをより理解していただき、防災対応能力の向上を目的として、土砂災害編、水害対策編の気象防災ワークショップをWeb会議ツールを用いて実施しました。令和3年度までに18市町村で実施。令和4年度は出水期前に実施しました。

積極的にJ E T Tを派遣



【島根県災害対策本部会議へ派遣】

令和3年は、7月に梅雨前線、8月には台風第9号と停滞前線により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、島根県災害対策本部会議に職員を派遣、常駐して、気象解説を実施しました。令和3年度の派遣は17事例。

「振り返り」の業務改善への活用

・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック

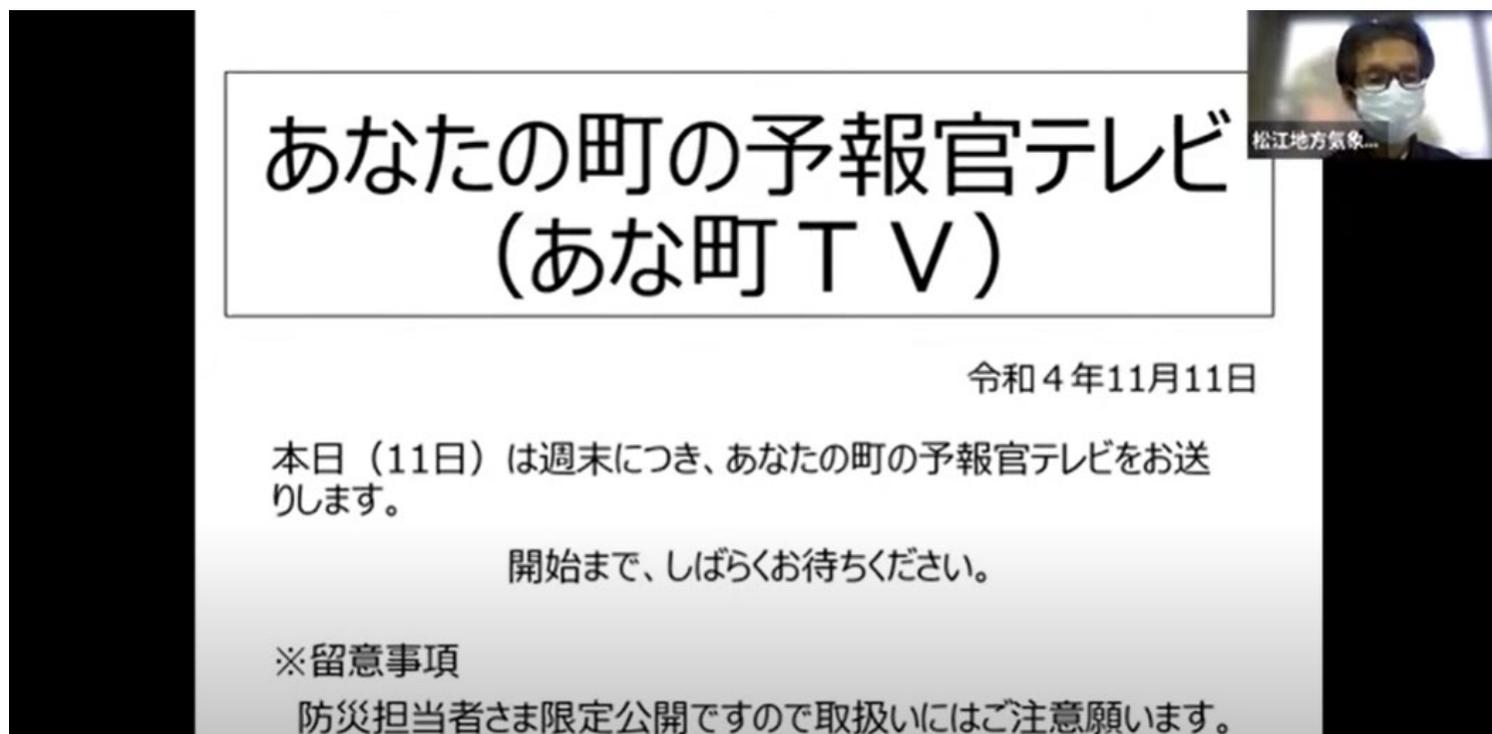


令和3年は、梅雨前線や台風等により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、県内全市町村担当者と共同で、振り返りを実施し、避難状況や活動を把握するとともに気象台への提案やニーズについて意見交換を実施しました。

※あな町TV = 気象台による防災気象情報の解説（Web）

- 「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

あなたの町の予報官テレビ (R6年度も継続実施)



あなたの町の予報官テレビ
(あな町TV)

令和4年11月11日

本日(11日)は週末につき、あなたの町の予報官テレビをお送りします。

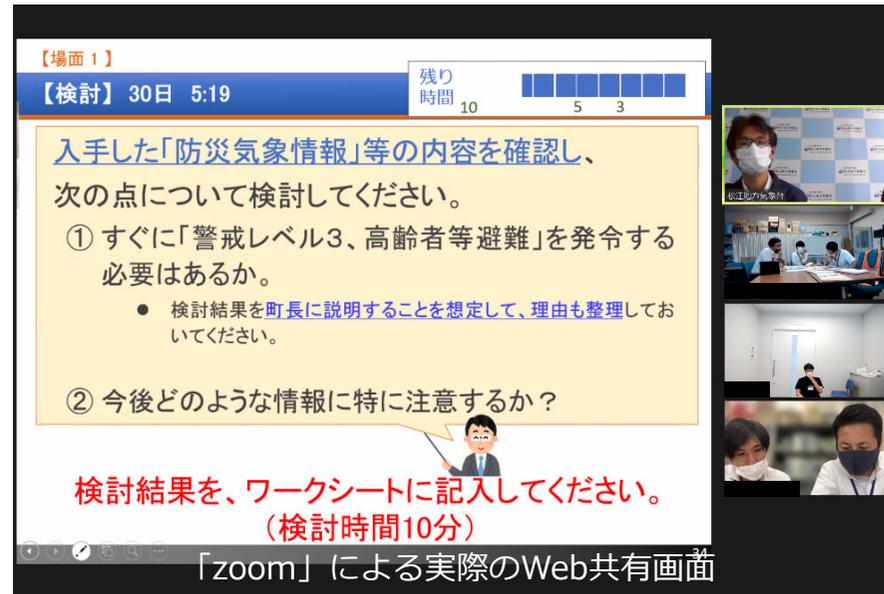
開始まで、しばらくお待ちください。

※留意事項
防災担当者さま限定公開ですので取扱いにはご注意願います。

市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官テレビ」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕方に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説（警報級の現象が見込まれる際は、随時配信）。併せて平日は、毎日16時に「**防災メール**」を配信し、きめ細かく防災対応を支援。

■「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や
二次元コード、SNSの有効活用

市町村防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催 (R6年度も継続実施)



- ・ 土砂災害・洪水災害が発生するおそれがある状況を想定し、気象台等から発表される様々な情報を参照しながら、グループワークを実施。
- ・ 各種防災気象情報への理解・有効活用とともに、体制強化や避難情報発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって地域防災対応力の向上を支援。

- 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施

「島根県総合防災訓練」において 展示ブースを開設



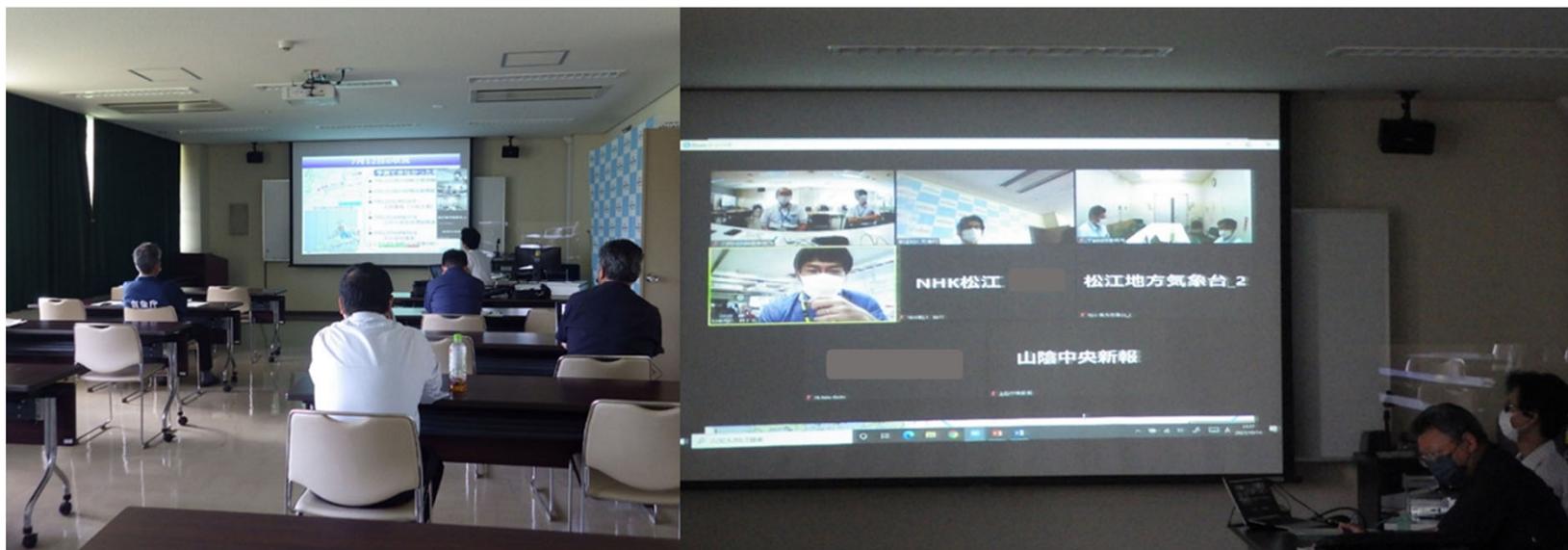
10月29日に安来市で開催された「島根県総合防災訓練」に参加 広く一般住民に向け**防災に関する展示・解説**を実施

- ・雨量計のカットモデルを展示し、構造・観測原理等を説明。
- ・気象庁が発表する様々な防災気象情報について、説明パネルを掲示。
パンフレットを配布し、防災知識の普及・啓発を行い、住民の防災意識向上に寄与。

■報道機関との連携

報道機関との懇談会を定期的に開催

- Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催
- 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
- Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ効果的・効率的な連携を実現
- 雪害等もテーマに、出水期に限らず通年で開催



【開催実績と気象台からの話題提供】

- 第6回 令和5年 7月 7日「二重偏波気象レーダーについて」「『顕著な大雨に関する気象情報』の新たな運用について」
- 第7回 令和5年11月30日「冬期気象状況の経年変化、予想される冬の天候、雪に関する気象情報について」

島根県

■防災情報の周知徹底

<令和6年度も継続して実施予定>

◆チラシ 島根県情報コーナーへの配架など

風水害・土砂災害からあなたと大切な人の命を守るために
一警戒レベル4 避難指示までに必ず避難!!

警戒レベル5¹
命の危険 甚かに安全確保!

警戒レベル4²
危険な場所から 全員避難

警戒レベル3²
危険な場所から 高齢者は避難

警戒レベル2²
高齢者等避難

警戒レベル1²
早期注意情報

島根県防災部防災危機管理課

災害から大切な命を守るため 防災情報を入手し、適切な避難行動を!

しまね防災情報ホームページ

最新の気象情報や防災情報を入手できます。
●各種ハザードマップ（洪水・土砂災害・津波、ため池など）
●気象情報等 ●土砂災害情報・雨量・水位情報 ●道路規制情報
●避難情報 ●避難所情報 ●しまね防災メール（携帯方向）など
URL: <https://www.ouaisai-pnmane.jp>

しまね防災メール

防災情報や気象のお知らせをメールで配信します。
●気象情報 ●土砂災害警戒情報 ●雨量・水位情報 ●道路規制情報 ●避難情報 ●しまね防災メール（携帯方向）など

島根県防災部防災危機管理課

◆考える県政 令和5年6月3日

事前の備えにより災害から命を守りましょう
「自分は大丈夫」と思っている、水害や土砂災害は突然起きます。日頃の備えが命を守る上で重要になります。

危険な場所、避難経路、避難場所等の確認

- ・ハザードマップ等を用いてお住まいの地域周辺の危険箇所を把握しましょう。
- ・家族や地域の方と話し合ってお住まいの地域周辺の危険箇所を把握しましょう。
- ・また、避難所だけでなく安全な親戚や知人宅へ避難することも考えてみましょう。

防災はまず知ることから! ハザードマップ入手方法

スマートフォンやモバイルサイトは
こちらから

電子版文字版・音声版が必要な方は
各市区町村窓口へ

非常持ち出し品の準備

- ・非常持ち出し品とは、避難するときに持ち出す最小限の必需品です。
- ・重すぎると避難に支障が出るので、必要最低限のものをもとめ、すぐに取り出せるところに保管しておきましょう。
- ・(非常持ち出し品(例))
貴重品、医薬品、懐中電灯、携帯ラジオ、乾電池 など

防災情報の収集

防災情報をいち早く確認し、迅速な避難行動をとります。

- しまね防災情報ホームページ
島根県の防災情報の総合ページです。
・各種ハザードマップ(洪水、土砂災害、津波、ため池など)
・気象情報等 ●土砂災害情報
・雨量、水位情報 ●道路規制情報
(国語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タイ語、英語に対応しています。)
- しまね防災メール
地震、津波情報、土砂災害警戒情報、河川洪水予報、国民保護情報など防災情報がメールで届きます。
(国語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タイ語、英語に対応しています。)

〈問い合わせ〉

防災に関すること	防災危機管理課	TEL.0852-22-5885
水害や河川に関すること	河川課	TEL.0852-22-5529
土砂災害や砂防に関すること	砂防課	TEL.0852-22-6261
農地防災に関すること	農地整備課	TEL.0852-22-5148
治山に関すること	森林整備課	TEL.0852-22-5172

出典：令和5年6月3日 山陰中央新報「考える県政」

◆防災に関する展示

令和5年8月30日～9月5日
県庁1階ロビー



令和5年6月2日～7月5日
県立図書館1階ロビー



◆島根県総合防災訓練

防災展示コーナーを開設し、各防災関係機関による住民への防災啓発を実施

令和5年10月29日
中海ふれあい公園（安来市）



■地域防災力向上のための人材育成

＜令和6年度も継続して実施予定＞

【令和5年度 避難行動要支援者・個別避難計画実務研修】

1. 日 時 令和5年12月4日（月）松江テルサ 大会議室（ほかテレビ会議）
令和5年12月5日（火）いわみーる 401研修室（ほかテレビ会議）
2. 受講者 市町村職員、社会福祉協議会、自主防災組織、民生委員等 約80名
3. 内 容 講義「避難にむすびつく防災気象情報の利活用」「医療的ケア児の災害支援」「難病患者の災害支援」、
県内市町村による事例紹介、意見交換会（グループワーク）
4. 講 師 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 西野事務局長（ほか）

【令和5年度 島根県自主防災組織リーダー研修】

1. 日 時 令和5年11月25日（土）～26日（日）
2. 場 所 島根県松江合同庁舎 2階講堂
3. 対 象 自主防災組織構成員、自治会関係者、防災士など 合計33名
4. 内 容 事例発表、洪水・土砂災害に関する講義、男女共同参画の視点で考える防災、
災害史に関する講義、まちあるき・災害図上訓練（ほか）
5. 講 師 静岡大学防災総合センター 牛山教授、山口大学大学院 龍本准教授（ほか）



【令和5年度 島根県防災士養成研修】

1. 日 時 <第1回> 令和5年6月3日（土）～4日（日）
<第2回> 令和5年11月11日（土）～12日（日）
2. 場 所 島根県職員会館 2階多目的ホール
3. 受講者 <第1回> 70名 / <第2回> 61名 合計131名
4. 内 容 防災に関する各種講義、救急救命講習、防災士資格取得試験
5. 講 師 NPO法人日本防災士会 宮永理事（ほか）



■内水氾濫を想定した排水ポンプ車による排水訓練の実施

<令和6年度も継続して実施予定>

- 令和5年5月25日及び5月30日などに計4回、排水訓練を実施
- 市町村の要請に基づく出動に備え、迅速かつ確実な内水排除が行えるよう排水訓練を継続して実施



〈川本会場〉

日時：令和5年5月25日
6月7日 計2回

訓練場所：邑智郡川本町大字川本

参加者：島根県県央県土整備事務所、
川本町、美郷町、邑南町、
邑智郡建設業協同組合



〈江津会場〉

日時：令和5年5月30日
6月15日 計2回

訓練場所：江津市桜江町市山

参加者：島根県浜田県土整備事務所、
江津市、
株式会社井上組

江津市

■小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実

【防災出前講座】

- 市内小中学校で防災出前講座を実施した。
- 市役所の防災担当の仕事や災害事例の紹介、備蓄物資の確認などを行った。
- 浸水想定区域等を確認し、避難場所等を確認した。

浸水想定区域や避難場所の確認



備蓄倉庫の確認



避難所運営体験



■小中学校での防災出前講座

- 5月17日 江東中学校
- 5月26日 桜江中学校
(桜江中学校は計2回実施)
- 7月26日 川波小学校
- 9月20日 渡津小学校
(渡津小学校は計3回実施)
- 9月27日 郷田小学校
- 9月28日 高角小学校
- 10月5日 桜江小学校

■参加者の感想

- ・江津市の過去の災害、災害の特徴について知ることができた。
- ・備蓄倉庫に食料や水、ベッド、トイレなどが置いてあり、災害に備えられていることが分かった。
- ・段ボールベッドやパーテーションを組み立てたことが勉強になった。
- ・今後、避難所で設置の協力をしたい。
- ・自分の住む場所のリスクが分かった。



■今後に向けて

災害の事例や災害への備えなどの説明、避難所運営体験により、防災意識の醸成につながり、自助・共助・公助について理解してもらえたと感じた。来年度以降も、防災マップなどを活用し、災害を自分事として考えてもらえるような講座を計画したい。

■桜江地区全体の防災計画づくり促進(江津市小さな拠点づくりモデル地区推進事業)

【各地区で防災ワークショップ開催、防災安全講演会の受講:桜江地区】

- 桜江5地区で地区防災計画を作成するための防災ワークショップを実施。地区の特性や予想される災害を話し合い、平常時・非常時の取り組みを考え、避難場所の検討、連絡体制構築などを行った。令和6年度中の地区防災計画の作成を目指す。
- 島根県防災部防災危機管理課主催の防災安全講演会を受講。受講後に協議。



<ワークショップの状況>



<ワークショップの状況>



<防災安全講演会の受講>

- 地区防災計画作成に向けた防災ワークショップ
 - ・6月～ 桜江5地区それぞれで2回ずつ防災ワークショップを実施。
 - ・年3回、防災部会実施。各地区の進捗状況、活動状況、防災リーダー・防災士養成の状況について情報共有。
- 防災安全講演会
 - 令和5年10月7日(土) 江津市
 - 令和5年12月16日(土) 益田市

■桜江地区での取り組みが横展開。松川町市村でマイ・タイムラインを考える防災の集いが行われた(令和5年5月)。



■防災計画(案)

桜江地域防災計画
 メインテーマ
 「誰一人取り残さない」
 令和5年 月
 (仮)
 桜江地域小さな拠点事業防災部会

川本町

■江の川の洪水の歴史と災害への備え

【小学校での防災授業】

- 町立川本小学校の4年生を対象に、防災授業を実施。
- R3に町が作成した『防災マップ』を用い、個々の家が災害想定区域のどの位置に居るか確認。
- S47年の大規模災害の写真などを見ながら、災害の可能性について検討。
- もしもの時の避難準備は何をすればいいのかの検討。
- 家族への防災授業の報告による、保護者の防災意識の向上。

★放課後クラブでの、段ボールベット組み立て体験。

【自主防災組織単位での防災意識向上】

- 全町での避難訓練（水害想定、土砂災害想定）を実施。
- 自主防災組織を対象とした、避難所運営訓練。
- 自主防災組織独自の避難訓練などでの避難等の説明会。
- 自治会長会議や全町民を対象とした『まちづくり意見交換会』でのタイムラインの説明。
- 自主防災組織での話し合いの場や、防災士受講生も2名あった。



美郷町

■住民の水防意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施

【女性の視点からの防災・減災活動】

- 新型コロナウイルス感染症5類移行後、対面での学習会の開催した。
- 女性の講師を招へいして、女性視点からの防災や減災について講演してもらった。
- 家庭でもできる防災への取り組みを深めた。

浸水体験ARを活用した浸水体験



開催経緯

新型コロナウイルス感染症により、町内での防災学習会がしばらく未実施の状況でした。今年度は対面での研修等も再開されたことで、講師の方を招へいし、住民さんや消防団員にお知らせをして学習会を開催しました。講師には全国で防災講演会を行っておられて、ラジオ出演や執筆活動でも防災の啓発をされている「あんどろりす」さんをお招きし、女性視点の防災学習会を行っていただきました。

吊はかりを使用した浸水時の歩行体験



防災学習を通して

学習会では防災全般の話しや、普段から準備できる防災グッズを実際に触って体験しました。また、水害についても浸水VRをプロジェクターへ投影し会場での浸水体験や、足に吊はかりを使用して、水に浸かった状態で足にかかる水圧をお互いに引っ張りながら体験し、浸水時の避難が危険であることや、早めの避難が安全であることを体験を通して学習できました。

案内チラシ

あんどろりす さんの

楽しく学べるアウトドア防災講座

アウトドアの経験や知識を生かした、防災講演活動を全国で実施している、アウトドア防災ガイド『あんどろりす』さんを講師に、子育て世代の方や、女性の視点から防災・減災を『楽しみながら』考える講演会を開催します。日常生活の中ですぐ実践したくなるようなアイデアやヒントを発見できるチャンスです！

- 日 時 令和5年10月22日(日)午前10時から
- 場 所 みさと館 町民ホール(または多目的室)

【申し込み方法】×切10月20日まで

・QRコードから申込 [こちらから⇒](#)

氏名・連絡先を入力(Googleアカウント必要)

・電話又はFAX(裏面申込書)から申込

電話 0855-75-1211 FAX 0855-75-1218

○お問い合わせ

美郷町役場総務課 石原(0855-75-1211)



【講師紹介】

あんどろりす(アウトドア防災ガイド)

新建新聞社 リスク対策.com名譽顧問

女性防災ネットワーク東京 呼びかけ人

防災リテラシー研究所フェロー

FM西東京 防災番組 パーソナリティ

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 博士課程

(出演)

NHKすくすく子育て他 新聞・ラジオ出演多数

著書「りすの四季だより」(新建新聞社)



講師「あんどろりす」さん

邑南町

■ 邑南町防災研修会の実施

【町民を対象にした防災研修会】

1. 日 時 8月20日（日）13:30～
2. 場 所 邑南町健康センター元気館
3. 受講者 町民約170人
4. 内 容 「邑南町の災害の振り返り」
「避難行動要支援者支援と個別避難計画について」
5. 講 師 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 事務局長 西野佳名子 氏

●平成25年の災害から10年の節目を迎えるにあたり、邑南町で過去発生した災害の振り返りを町民全体に向け実施。併せて邑南町の個別避難計画作成の進め方について、自主防災組織等の関係機関へ周知を実施。

【講演会の様子】



■ 開催案内チラシ

令和5年度
邑南町防災研修会
～平成25年邑南町8.24豪雨災害から10年～

平成25年 日和地区

研修内容

- 邑南町で発生した災害の振り返り
- 「避難行動要支援者支援と個別避難計画について」
講師：西野佳名子
一般社団法人兵庫県社会福祉士会

西野佳名子（にしのかなこ）
 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士
 ・2000年4月より老人デイ・在宅介護支援センター生活相談員を経て、
 ・2005年4月より京都女子大学にて介護福祉士と社会福祉士の学習指導に
 従事
 ・2009年4月より社会福祉法人さくらんぼ高齢者福祉施設施設長就任
 ・2014年5月より現職（一般社団法人兵庫県社会福祉士会事務局長）
 ・2019年より高齢総合福祉専門福祉士科連携特許教員
 ・内閣府をはじめ多くの研修で講師を務める

命を守るためにできることを

邑南町では、災害時に自力で避難することが難しいと思われる方の避難方法をあらかじめ決めておく「個別避難計画」や町民一人ひとりが避難するタイミングや避難場所などを決めておく「避難行動計画（マイ・タイムライン）」の作成に取り組んでいます。自主防災組織・防災士・民生児童委員・福祉事業者など関係者をはじめ、町民みんなで学び作成を進めていきましょう。ぜひ皆さんの参加をお待ちしています。

入場無料
どなたでもご参加いただけます

令和5年
月日 **8月20日（日）**
時間 **13:30～16:00**
場所 **邑南町健康センター元気館
（邑南町淀原 153-1）**

主催：邑南町 【問い合わせ先】 邑南町役場総務課 ☎0855-95-1111

(2) 令和6年度の取組予定について

令和6年度の主な取組支援

○令和6年度は、避難行動の目安となる取り組みを主として、以下の取組を実施・支援する。

	令和6年度の主な取組支援
1	マイ・タイムラインの普及促進の講習会の開催
2	小中学校を対象とした防災教育の普及
3	民間企業における事業継続計画検討支援
4	危機管理型水位計の更新

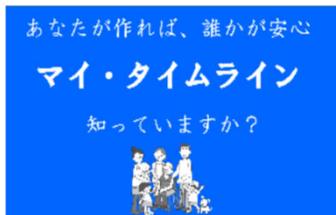
項目	住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	
内容	令和6年当初計画	江の川（下流）流域の自治体等を対象にマイ・タイムライン講習会を実施 マイ・タイムライン講習会の実施に向けた広報活動を事務所SNSを活用し実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

『マイ・タイムライン作成支援ツール』

自治会長や自主防災リーダー等が主体となって地域のマイ・タイムライン作成を推進するための支援ツールを作成している。

<広報・解説動画>



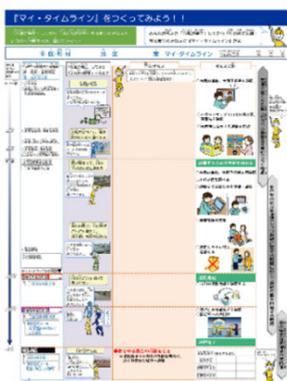
<逃げキッド>



<作成ヒント集>



<マイ・タイムラインシート>



<講習会資料>



<講師用手引き>



今年度の実施予定(案)

【目的】 江の川水系(下流)における「逃げ遅れゼロ」を実現するために、島根県・流域市町と連携してマイ・タイムライン講習会を開催する。また、自治会長や自主防災リーダー等が主体となって、地域のマイ・タイムラインを作成する取組みを推進する。

スケジュール

マイ・タイムライン講習会の実施 (1自治体1地区以上を予定)

・ SNSを活用した広報の実施
・ 防災に関心のある自治会や防災士会等における**マイ・タイムライン講習会の実施要望**があれば、浜田河川国道事務所までご連絡をお願いします。

講習会参加者を対象とした防災意識アンケート調査の実施

マイ・タイムラインの作成促進に向けた課題等の把握

『マイ・タイムライン作成支援ツール』の更新

- ・ 広報、解説動画
- ・ 逃げキッド、作成ヒント集、マイ・タイムラインシート
- ・ 講習会資料
- ・ 講師用手引き

江の川(下流)におけるマイ・タイムライン作成促進

項目	小中学校などと連携した江の川（下流）水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実	
内容	令和6年当初計画	江の川（下流）流域の小中学校を対象に防災教育を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

これまでの取り組み

<江の川(下流)での防災教育の実施状況>

実施年度	防災教育の実施校
平成30年度	・ 渡津小学校、川本小学校
令和元年度	・ 川本小学校
令和2年度	・ 郷田小学校
令和3年度	・ 郷田小学校
令和4年度	・ 郷田小学校
令和5年度	・ 川本小学校

<川本町立川本小学校での事例>

令和6年1月に実施した川本小学校での出前講座では、「自然災害の種類」「江の川の概要」「過去の洪水」「避難行動のとり方」等について、クイズを交えながら勉強を行いました。



授業の様子

今年度の実施予定(案)

- 今年度は、昨年度に要望のあった美郷町立大和小学校において、島根県・流域市町と連携して防災出前講座を実施予定である。
- 新たに要望をされる小中学校においても防災出前講座を実施する予定。



現時点で、**小中学校から防災教育の実施に関する要望のある自治体があれば、浜田河川国道事務所までご連絡をお願いします。**

項目	江の川（下流）の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	
内容	令和6年当初計画	江の川（下流）流域の商工会や企業を対象とした講習会等の実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

今年度の実施予定(案)

<講習会等の資料イメージ>

立地適正評価

STEP①ハザードを知る

①外から確認



②中から確認



被害想定イメージ

STEP②被害程度を知る

		浸水被害想定
ヒト	従業員の生命・安全	大雨時には早期休業により人命被害なし
	従業員の家族の生命・安全	浸水区域内に居住する従業員家族の危険性がある
モノ	輸送トラック	敷地内に確保している全車両の浸水被害が想定される
	商品、在庫、原材料等	浸水深●mが想定されるため、商品、原材料等の浸水被害が想定される
	機械設備、加工機器等	浸水深●mが想定されるため、機械設備、加工機器等のほとんどの浸水被害が想定される。
	機械設備	床から浸水深●m以下に設置している検査用の機器等の浸水被害が想定される。
商品、在庫、原材料等	床から浸水深●m以下に保管している顧客商品等の浸水被害が想定される	
	契約書の重要書類	浸水深より高い棚に保管しているため被害なし
カネ	運転資金	指定銀行に預けているため被害なし
情報	コンピューター	コンピューターは建物2階にあるため被害なし
	サーバー・データ	コンピューターは建物2階にあるため被害なし

BCP作成支援のフロー

STEP1
予測

ハザードを知る

・立地特性評価

STEP2
予測

被害程度を知る

・被害想定
・リスク評価

STEP3
予防

水害に備える

・課題の整理
・対策の検討
・対策実現可能性の評価

STEP4
対応

水害に対応する

・BCPの検討

経営資源の課題例

STEP③水害に備える (課題の整理)

業務資源	課題例
人	社員の安全は確保できるか？何人出社できるか
施設	建物は引き続き業務で使用できるか。
設備	機械・設備は移動、破損しないか。
原材料・サプライヤー	重要な原材料は入ってくるのか。（代替可能なサプライヤーはないか）
交通インフラ	道路・鉄道・空港・港湾は機能するのか。
ライフライン	電気・上下水道・通信の被災（停止）は、地震後の対応は大丈夫か。目標復旧時間に影響しないか（影響する場合の事前の備えは）
システム、データ	サーバーは安全か。
お金	手持ちの資金だけで復旧はできるのか。

水害発生後の行動内容(例)

STEP④BCPの検討

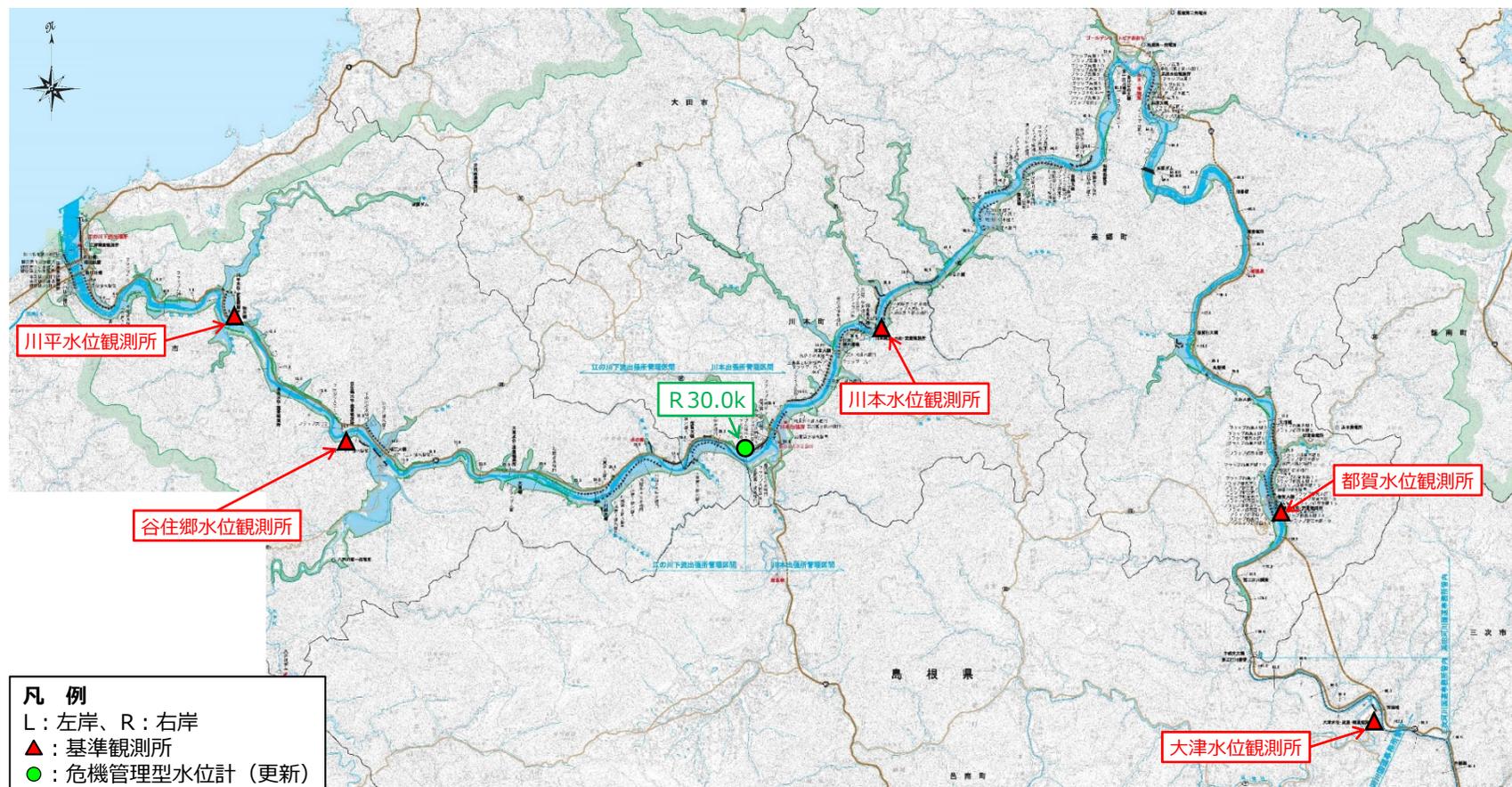


BCP作成希望の企業をご存知の自治体があれば、浜田河川国道事務所までご連絡をお願いします。

項目	洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	令和6年当初計画	孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置・更新
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○江の川水系（下流）では、危機管理型水位計1箇所の更新予定です。



危機管理型水位計の更新平面図

松江地方気象台

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

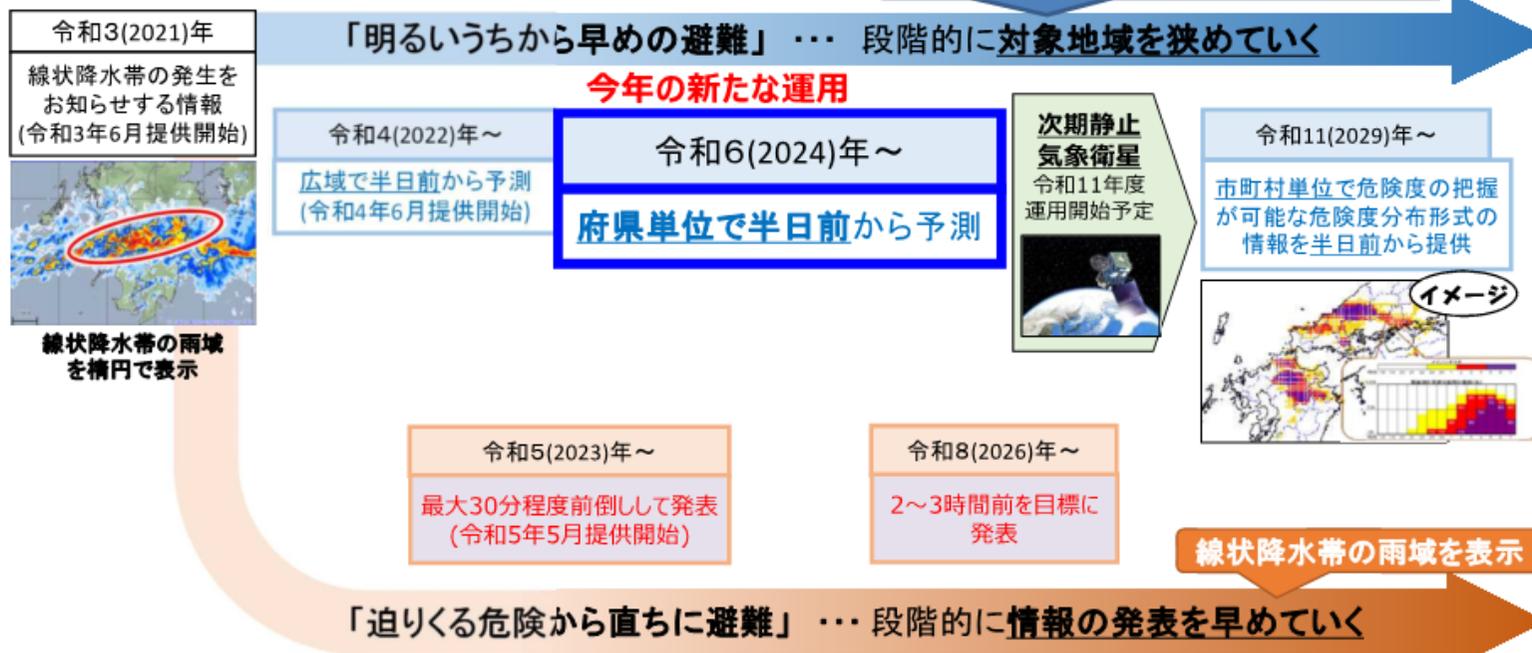
○防災気象情報の改善

線状降水帯による大雨について半日程度前から**府県単位**での呼びかけを開始

観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、令和5年5月より、「顕著な大雨に関する気象情報」（線状降水帯の発生をお知らせする情報）をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。

令和6年5月28日からは、令和4年度から開始した半日程度前からの呼びかけを府県単位で実施。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

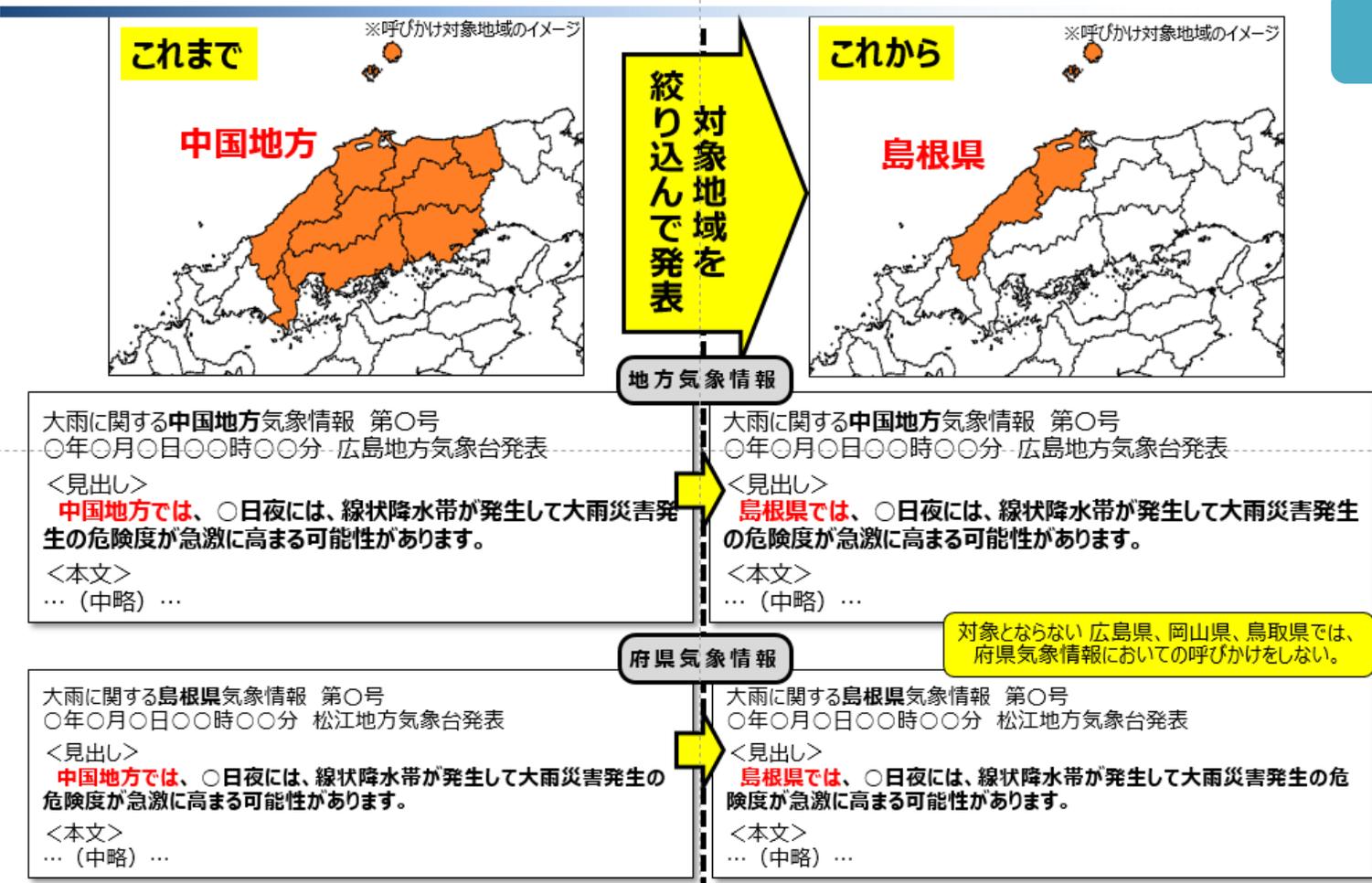
国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善

令和6年から開始する半日前からの府県単位での呼びかけ（地方／府県気象情報）

令和6年
5月28日



■洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供

自治体支援の強化



＜新たに配置された4つの役職＞

①気象情報基準評価係

特別警報・警報基準の見直し



各市町村の地域ごとの災害特性に即した大雨特別警報等の基準値の設定・運用・検証・改善

②流域治水対策係

流域治水協議会等への対応



流域治水協議会に参画し、各河川流域の災害特性に特化した気象資料の提供や技術的助言

③要配慮者対策係

高齢者や障がい者の避難に関する計画作成等の支援対応



要支援者の避難に関する計画策定への助言や内容を特化した普及啓発

④リスクコミュニケーション推進官

多様な分野のリスクコミュニケーションを推進

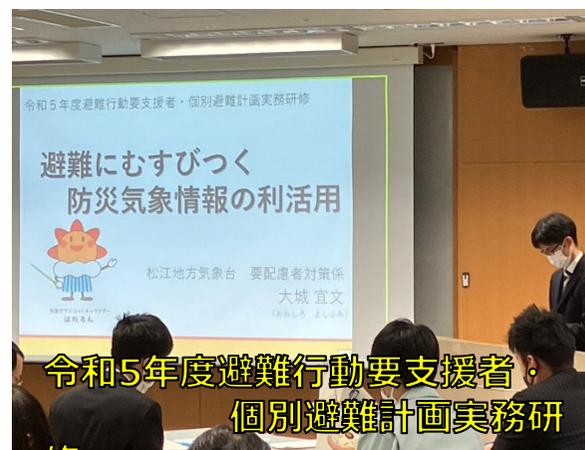


情報受け手側との対話を通じて、情報発信の改善や防災意識向上の取組

＜要配慮者対策係による講演＞



松江市社会福祉協議会

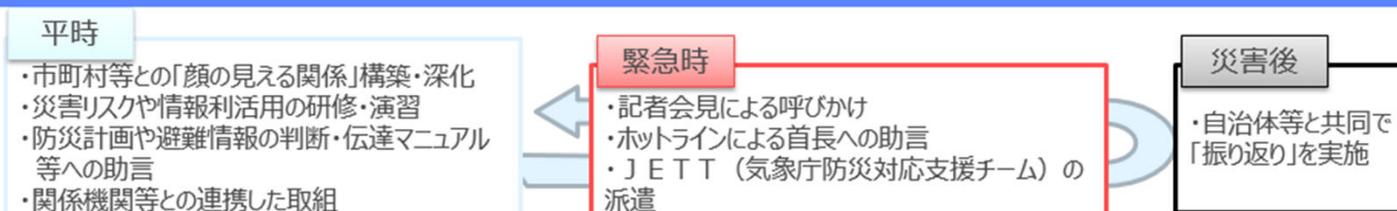


令和5年度避難行動要支援者・個別避難計画実務研修

■「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

○地域防災力向上のための人材育成

地域防災支援の強化—あなたの町の予報官（担当チーム）の取組



「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務を強化

・島根県を複数の市町村からなる3つの地域に分け、地域毎の災害特性を踏まえた地域専任の担当チーム「あなたの町の予報官」を編成。担当チームの常設により、各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築し、さらに深化させていきます。

【松江地方気象台の担当チーム編成】

松江・出雲・雲南
チーム



松江・出雲・雲南
担当チーム

隠岐・県央
チーム



隠岐・県央
担当チーム

浜田・益田
チーム



浜田・益田
担当チーム



気象防災ワークショップの推進



【Web会議で隠岐合同のワークショップ開催】

県内自治体防災担当職員を対象に、気象情報の利用方法などをより理解していただき、防災対応能力の向上を目的として、土砂災害編、水害対策編の気象防災ワークショップをWeb会議ツールを用いて実施しました。令和3年度までに18市町村で実施。令和4年度は出水期前に実施しました。

積極的にJ E T Tを派遣



【島根県災害対策本部会議へ派遣】

令和3年は、7月に梅雨前線、8月には台風第9号と停滞前線により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、島根県災害対策本部会議に職員を派遣、常駐して、気象解説を実施しました。令和3年度の派遣は17事例。

「振り返り」の業務改善への活用

・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック



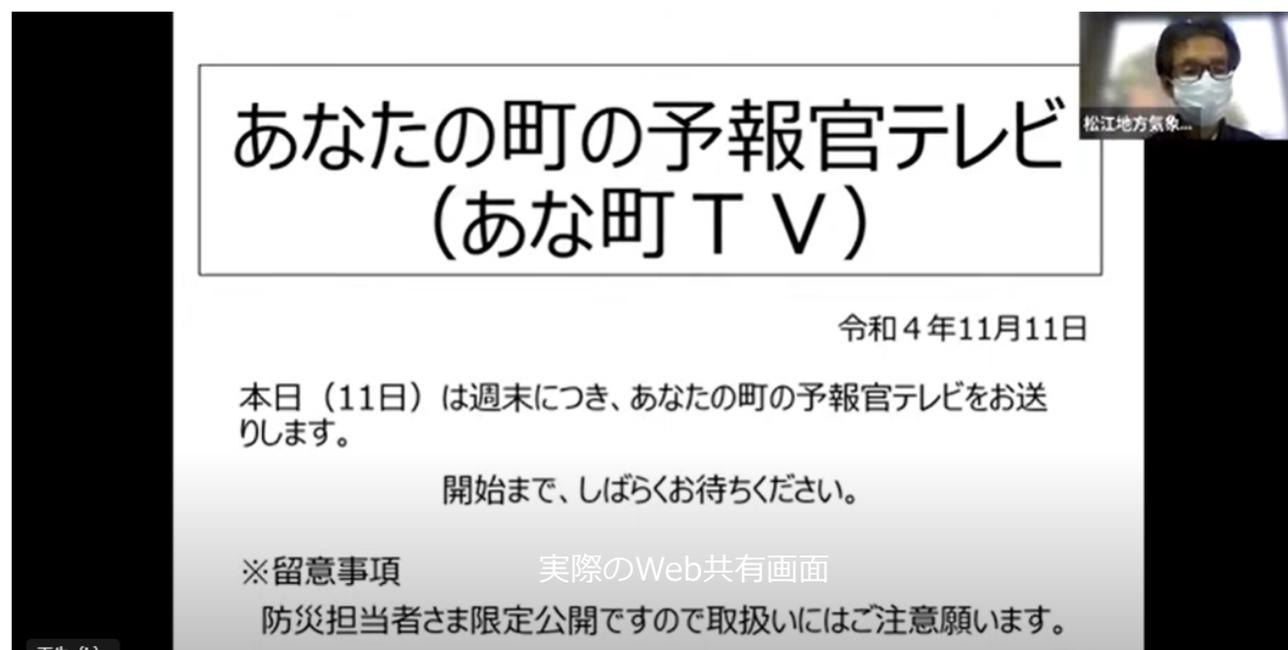
令和3年は、梅雨前線や台風等により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、県内全市町村担当者とともに、振り返りを実施し、避難状況や活動を把握するとともに気象台への提案やニーズについて意見交換を実施しました。

※あな町TV = 気象台による防災気象情報の解説 (Web)

■「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

○地域防災力向上のための人材育成

あなたの町の予報官テレビ (R6年度も継続実施)



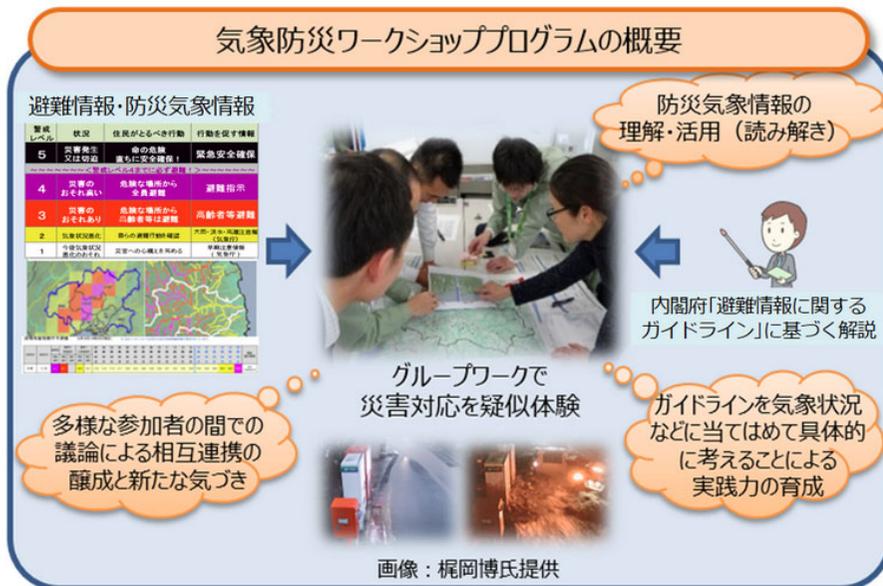
市町村防災担当者向けに、**「あなたの町の予報官テレビ」**と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕方に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説（異常気象が見込まれる際は、随時配信）。

併せて平日は、毎日16時に**「防災メール」**を配信し、きめ細かく防災対応を支援。61

■「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

○地域防災力向上のための人材育成

市町村防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催 (R6年度も継続実施)



【場面1】

【検討】 30日 5:19

残り時間 10 5 3

入手した「防災気象情報」等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① すぐに「警戒レベル3、高齢者等避難」を発令する必要があるか。
 - 検討結果を町長に説明することを想定して、理由も整理しておいてください。
- ② 今後どのような情報に特に注意するか？

検討結果を、ワークシートに記入してください。
(検討時間10分)

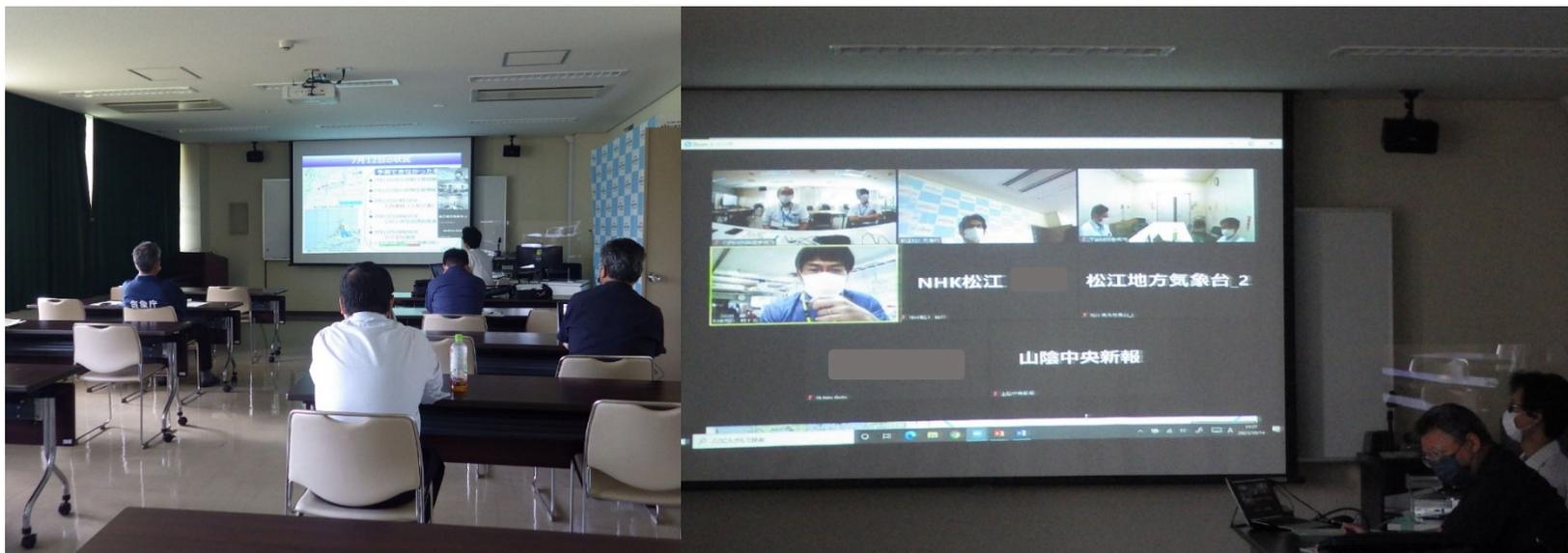
Web共有画面

- ・土砂災害・洪水災害が発生するおそれがある状況を想定し、気象台等から発表される様々な情報を参照しながら、グループワークを実施。
- ・各種防災気象情報への理解・有効活用とともに、体制強化や避難情報発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって地域防災対応力の向上を支援。

■報道機関との連携

報道機関との懇談会を定期的に開催

- Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催
- 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
- Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ効果的・効率的な連携を実現
- 雪害等もテーマに、出水期に限らず通年で開催



邑南町

■小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実

【防災出前講座の実施】

○町内各小中学校や地域を対象とした防災出前講座を実施し、災害時における「自助」「共助」に対する意識啓発を図る。

【災害に対する理解と行動意識の向上】

- ・近年の災害について
- ・避難情報について
- ・マイ・タイムラインの作成について
- ・災害の対する町の取組について（情報提供）
- ・個別避難計画について（町民主体の災害に対する取組と地域のつながり）



【町民を対象とした防災研修会】

- 男女共同参画と防災・減災について研修会を実施
- 性別や立場など多様性に配慮した支援体制づくりに対する意識啓発（年齢、障がいの有無、性別により異なる被災状況の理解）
- 避難（所）生活での誰もが安心して暮らせる環境、長期的な暮らしの視点についての意識の醸成

【男女共同参画と防災・減災】

- ・男女共同参画の現状（役割分担意識、女性の地域活動への参画など）
- ・被災時の性別・立場による困難の違い（環境面、安全面、家庭・社会生活面からの視点）

【多様性に配慮した対策】

- ・大規模災害時の被災の実態
- ・時間経過とともに起こる被害拡大（直接死、災害関連死を含めた心身への影響など）



(3) 今後のスケジュールについて

江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会 今後のスケジュール

令和6年5月23日（木）
令和6年度 第1回 幹事会

令和5年度の実施状況の報告及びフォローアップ
令和6年度の実施予定、情報提供、今後の予定 等

※県央圏域水害・土砂災害に関する減災対策協議会幹事会、浜田圏域水害・土砂災害に関する減災対策協議会担当者会と合同開催

令和6年5月29日（水）
令和6年度 第1回 協議会

令和5年度の実施状況の報告及びフォローアップ
令和6年度の実施予定、今後の予定 等



令和7年2月中旬
令和6年度 第2回 幹事会

令和6年度の実施状況の報告及びフォローアップ
情報提供、今後の予定 等

令和7年2月下旬
令和6年度 第2回 協議会

令和6年度の実施状況の報告及びフォローアップ
今後の予定 等